つなごちゃんだより　2020年 12月号

〒177-0045 練馬区石神井台３丁目31番４号　小規模保育園手をつなご石神井台
TEL　03（6767）1204

コロナ感染者の数がとどまらず増える一方です。目に見えないウイルスに対して不安は尽きませんが、室内換気は勿論の事、子どもや大人が手を触れる場所や物などあらゆる物の消毒、丁寧な手洗い、人混みを避ける等、なお一層気をつけて過ごしていきたいと思っています。

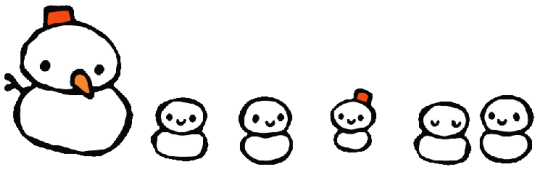
子ども達は色々な物に興味を持ち、最初は「これなあに？」から始まり、２歳児クラスになると「どうして〇〇なの？」「〇〇だからこうなんだね。」と疑問、知りたい意欲で一杯です。柔らかい頭で何でも吸収する時期です。丁寧に分かりやすい言葉で応えるようにしています。

寒さが一段と厳しくなりますが戸外で全身を動かして楽しんでいきます。

園長　後藤　律子

１２月の予定

１５日（火）　身体計測
１７日（木）　避難訓練
22日（火）　クリスマス会
下旬　鏡餅作り



12/29（火）～1/3（日）保育園はお休みです

年末年始にお出かけするときには、３密を避け、コロナウイルス感染にくれぐれも気を付けてください。

今月のねらい

★0歳児ひよこ組★

＊ 一人ひとりの体調に留意してもらいながら戸外や室内で体を動かして遊ぶ

＊保育士や友だちと言葉や仕草のやり取りをしながら見立てやつもりの遊びを楽しむ

★1歳児りす組★

＊保育士と一緒に身の回りのことをやってみようとする

＊保育士に仲立ちしてもらいながら、友だちに興味を持って関わろうとする

★2歳児うさぎ組★

＊保育士と一緒に衣類の調節をしながら、寒い時期も元気に過ごす

＊ごっこ遊びや集団遊びを通して友だちとの関わりを広げていく

冬に向けての保育園での
コロナウイルス感染予防対策

＊手洗いをする
＊換気をする
＊消毒をする
＊加湿をする
＊室温・湿度・二酸化炭素濃度の定期測定
＊食事の時に向き合わないように座る（1歳児はスペースの関係でやむを得ず向き合っています）
＊おむつ替え　トイレ介助
鼻を拭くなどした後、職員は手を洗う・または消毒をする
＊心の育ちを大切にするため、抱っこの制限・子ども同士のふれあいの制限はしていません

１１月の子どもの様子～室内遊び編～

‹0 歳児　ひよこ組›

みんな１歳７か月前後になり、自分のまわりのものに興味がいっぱいの様子です。
「おもしろそう」と思うと　さわったり動かしたりして、いろいろなことを学び取っています。

ポットン落とし

「穴やすきまを見つけたら、入れてみたい」
そんな１歳児にぴったりの遊具です。
目で見て手を調整して動かすことや集中して遊ぶこと、できた！という喜びもたくさん感じて遊んでいます

見立て遊び

おもちゃの携帯電話を耳（のあたり）にくっつけて、自分ではお話をしているつもり。
ままごとの器に入れたままごと用食材を、スプーンですくってお友だちのお口に「どうぞ」
自分のイメージしたものを生き生きと表現しています。
自ら遊ぶことが、豊かな学びにつながっていきます。

‹1 歳児　りす組›

ままごと　机の上の遊び　絵本　手先の遊び　体を動かして遊べるスペースと部屋を分けています。
「ちょっと高いところを歩きたい」「のぼりたい」「飛び降りたい」と意欲いっぱいの子どもたち。
体を動かす遊びができるように可動遊具を作っています。見たてやつもりの遊びにも活躍しています。

可動遊具（遊びを豊かにするために考えられたものです。いろいろな種類があります）

一つの牛乳パックの中に畳んだ別の牛乳パック８本分を詰めて作ります。（新聞紙を詰めてＯＫ）この写真はそうしてできた牛乳パック４本をガムテープで組んでいます。１・２歳児が自分で運んだり、並べたり、積んだりできる大きさ・重さです。

裏は線路になっています
牛乳パックの電車が走れます

運動遊びも見立て遊びも

あるときは一本道。
あるときはジャンプの台。
（積むのは２個までにしています）
お風呂になったり、バスや電車になったり、線路にもなります

‹2 歳児　うさぎ組›

好きな遊びを選んで、じっくり遊べるようなコーナーの工夫をしています。大好きな粘土は感染症対策のためマークを付けたタッパーにいれて、粘土板と粘土ベラとともに個人用にしています。
想像力や言葉が豊かになり、お友だちと共通のイメージをもって、いろいろな遊びをしています。

子どものお料理

ままごとコーナーの紹介です。大人がやっているようにやってみたいので、炒めるのも調味料を振り入れたりするのも〝いい手つき〟です。ままごと用の具材は、自分たちでイメージしてお料理ができるような素材を用意しています。

子どものお料理

1・2 歳児は自我がめばえて、「ジブン」を盛んに主張します。おもちゃも「ジブン」が使いたいのです。まずは「使いたい気持ち」を大切にしています。自分の気持ちを大切にしてもらうことで、相手にも大切な気持ちがあることに気付いていきます。
うさぎ組はお友だちの思いもわかるようになってきて、自分から貸したり、借りたり、順番や交代も出来るようになってきています。